太原城爆撃の實際を

山西

の先遣隊は潰走する敵を馬筋 の先遣隊は潰走する敵を馬筋 に蹴散らしつ」まづ長谷川快 逃部隊先鋒が五日午後五時半 太原城北門間近かに達し、つ

空から見る記

隊長機に同乘した從軍記者

〇〇根據地六日發國

一 天候もものかはわが荒薔薇

(-)

山西の王

者閣錫

N N N



御表明

好電を開召された満洲圏皇帝時 今では日本軍のもとに鴻重に保 今では日本軍のもとに鴻重に保 西陵保護に

行動を開始し、楡大方面よりが展開された。 かくて快速部

恐るべき共産

排日宣

し河邊二個所に「十萬の日本 車杭州灣北岸に上陸す」と大 書したアドバルーンを掲載し ならにラウドスピーカーでこ れを放送し啞然とする支那兵 に向つて、わが軍將士はさら に勇奮猛烈な進撃に移つた

を直接脅威されるに、上海方面の支那兵界政な大連撃を開始の支那兵の支那兵

身)は、その後年田口部隊員始め各方面で手を盡して鋭っ 地の各方面で手を盡して鋭っ 地の各方面で手を盡して鋭っ が當時支那兵がそれらしき死 が當時支那兵がそれらしき死 に捜査を續けた結果、果し りに捜査を請けた結果、果し

鐵商

七市四官二〇

福信金融株式會計第二條通り三二元者到書の

素人にても可至急本人 脚來談ありたし

世宗義氏(清津事務所長へ出宗義氏(清津事務所長へ出宗をよく) 同國 1 世東京 (大村菜) 同國 1 世東 (大村菜) 同國

往來

新築近日開店

太原城を兵火から救ふ計畫

率も實もあるわが武人として忍び得ざるところとして、手も足も出なくなつた城内の敵に軍使を派遣して投降を動告、平和的落城に全力をさしも頑張に抵抗を讀けた城内の敵も全く職意を喪失し袋の鼠となつた、かゝる敵の哀れむべき祕を見たわが○○部除長はこれ以上の攻撃が地を次から次へと占領、正太線方面から前港して太原南方に進出した友軍部脈と協力、午前十一時頃には殆ど完全に太原城を包围したゝっ 【石家莊六日發國通】六日午前九時廿分わ

舌文酌五千枚を飛行機上より つまる興奮

日戦線に躍上つた

根據太原を遂に失ふ

頭敵を猛撃

る寶山避難民收容所を訪ひ午し城に赴いて傳染病院を見舞

アス路方面に

壓迫中

氣球とラデオで

上陸を通告

別天地を作りあげたが、そのとに刻苦經營した結果、治績

領道を朱に染めた

「上海六日愛國通」加藤隆軍 ついで捕虜收容所を観察後費 河に成功したわが軍は引續き加藤大官病院訪問 車を驅って兵站病院を慰問、 【上海六日愛園通】蘇州河渡り目下これを猛攻中である | 政務文官は六日午前十時自動 上口之 選生

岡蒲鐵總裁及び

告者たる百姓に對して感謝状を聞つた、最充活の発生に対勢あつた報 来し野犬の食ふにまかせて職 来し野犬の食ふにまかせて職 なざる支那軍に引き比べて、 しかも叮嚀に弔ふ に現査、しかも叮嚀に弔ふ

各理事辭任說

及び参議の一部に

有力 四つた、而して

参議就任

ご日産の

進出から

壯絕なる太原攻略追撃戦

編製された立派な満 大一人見えない。や 大一人見えない。や 方へ太原市街の上次

及び参談の一部に ながはその他を日産に移譲しかたく、満 然はその他を日産に移譲しかたく、満 然はその他を日産に移譲し減緩 管その他を日産に移譲し減緩 本来の使命たる鐵道事業に事 たするやら経営上の一大轉奏 を期することになつたので、 を期することになったので、 を期することになったので、 を期することになったので、 をがまる。 をがな。 をがな。 をがまる。 をがな。 をがな。

で その實現の時期も極めて繁迫で その實現の時期も極めて繁迫 といふ説も可成有力に修べら

の

日

なと噂してゐる

ルマシガヒ油醬ちぐすう 特約店

果然!好評の嵐 建成滿員盛況の大記錄

海の荒鷲勝利の一

堂々目下開催中!

東京に於けるマネージャー界の第一人者藤澤氏の作品第一回
シェー堂々一ヶ月に亘る苦心の準備とそのアザヤカなテクニ
非一庭御閲覧下さい
カフェーモンテカリ
豊衆路電③506

本大々と山西要所を日設國通」皇軍の山

を襲ぜしめてる

皇軍の

山西進入に續々

死體發見 百姓の殊勳

新京東五條通り十七番地南京東五條通り十七番地東五條通常有多本人来談の両十七八子以上二十四、五年の一十七番地

菓和

陸海軍に感謝電

ED.

七日午前六時頃幾道北四條通 及高砂町の交叉點に於て支那 人の變死體あるを通行人が登 、 死因は附近の高さ二十尺 か、 死因は附近の高さ二十尺

記念式は延期

協和會館に於て多數の來資柔「日浦兩國族に敬禮、日蔣兩國

を表し添る。

曜 月)

したが、餘難目下収調べ中で「十一千多百名の食員を擁じ國へに切端つまつた悪事と判明」路、寛蔵子三分會を併せて堂

協和會道場開き

記念武道大會

鐵北高砂町交叉點に横はる

七日午前九時三分頃永樂町四十日十七番地大浦旅館管理人申伯玄(二八)方二階より出火の急報に滿銭消防騒が駈け

永樂町の小火

馬車收容所 けよ地鎮祭執行 首都乗用馬東人力車組合では かねてより馬車收容所の建設 を計量中のところ態よ具體化 し二道河子臨時河街に決定し 七日午後一時よりこれが地鎖

所柄もわきまへぬ大體不前の行動に事件は重大視されて

局壓線に觸れ

池姿を飾した、

京中人通り少いヤマトホテル正門前に差しかいるや突加後方薄闇の中から躍り出郊水町務線就宅予九百十三番地宮原クニさん 二十)は六日午後八時十分照妹さんと日本橋通りを解に向って行く

妙齢の婦人からハンドバックを奪ひ

(大北新報) 張洪遠 (豪東日地親祭のため渡日する謫人記地親祭のため渡日する謫人記

闇にまぎれて逃走

た怪漢が突然クニさんに突き當り所持してゐた現金四國三十錢及化粧品書翰

ハンドバックが路上に落ちるや逸早くそれを奪って三笠町方面に逃

犯人は年齡二十七、八歲位の日本人員の男で国出により新京署では犯人酸採中であるが場

大和ホテ

ル正門前に

らなかつたが でも鄭さんの様な人物が北 でも鄭さんの様な人物が北 支に行かれることは今後の 北支に一大光明を與へるも すが 。舊知に逢ふのみ、ご語らず

あつてくれゝば幸ひ・ぐ歸京する筈である。

ですが別に政治的な意味を もつたものでないから異れ くくも宜敷くお願ひしまず と寫値班のフラッシュを避け でしまつた、尚同件の郷禹氏

時「はと」を見送る人々で時一内務局長官、難波翼東政府 難波翼東政府最高顧問も

た。 に引率され。 七日午前八時ひ 大時で 新京優東上した

不備で損害は僅少である

滿人記者图一行 訪日の途へ

分鎭火した、原因は煙突の

二、協和行進級合唱 日瀬谷語合唱 日瀬谷語合唱 所京混腔合唱團 新京混腔合唱團 大同劇團 一、講 非常時局と民族協和 非常時局と民族協和 主語指導部長

んさ子合百宝其

昭和製鋼出張所昭和製鋼所では新京特別市大明和製鋼所では新京特別市大明を記述の時間は新京出明を記述の時間が開発に前日本の事のでは新京出いる。

堀宣傳主任出張

日麓の列車で安東に向つたというでは、日瀬商事宣傳主任規氏は非常時に於ける燃料の節減を徹底時に於ける燃料の節減を徹底

新京公學校父兄總會 設立等四國の情勢から右設立 が今次事製の詩生、殿策會社

関節左の如じ

を設備を対する。 を設備を対する。 を受け 他し市内に保護人を要す を要す 件宅 六型 四量半

説町二丁目七番地ノニ 行四行



電話長三一二三八八二

旅館會社の設立

一先づ中止か

日本橋語、新京ビル階上數室日本橋通り商店向一戸の十五圓、三十圓、四十圓四十五圓、三十圓、四十圓四十五圓

大津夫人寄附 大津前内務局長官夫人は國防 超大會新京英語分會長として 現在迄努力されてるたが、今 回の退京に際して同會新京支 部資金として五十圓を寄附し ガス會社の ガス會社の がス會社を作り、十一年後二時迄與安大路東平街角の前ス會社に於て即席受養料理講習會を催す事に次でかかが現場者は九日迄に興安大路東平街角の前ス會社迄に申込まれたいと

▲建國精神宣鳴週間第六日 ●特殊放送「民族協和の夕」 ・一後七時ペーハ時四十分 ・一後七時ペーハ時四十分

野兵各位の (1) を (2) を (2) を (3) を (4) を (4)

今晩の本なる演感放送◇

専門店清眼堂で

心双眼鏡は

駅の大勝進軍は今回 が東共同作職による 受官強打電した 受官強打電した

らびに麾下特兵各位の御勢 命的打撃を與へつゝあり、 合的打撃を與へつゝあり、 さゝに謹んで慶祝の激を表 するとゝもに遙かに関下な するとゝもに遙かに関下な

各型に始まり熱戦展開 国部長の挨拶、預田柔道、海保 制道兩部長の挨拶、預田柔道、海保 制道兩部長の挨拶、預田柔道、海保 一二階第一宜議室に於て占部五 で整かあつて十一時半新京商 で整かあつて十一時半新京商 で整かあつて十一時半新京商 でを表したの会報武道 がであるのでは、一個戦から開 を表したが、本道は でを表したが、一個戦から開

▲七・三〇 聯際版(他台) 歩 日曜特群ニュー、演纂、東京) 料 へ、一五版端曲、卓城) 料 で東京) 藤原絵画 本元。 一五版端曲、卓城) 料 で東京) 藤原絵画 本元。

堤起工

六日盛大に擧行 校名も變更されるだらうかそ の教育方針は一貫した日瀬一 の教育方針は一貫した日瀬一 ると詳細に説明じで午後より

F

井博章氏

砂なきに至るであれるに至るであれるに至るではよりは しているに至るであれるに至るであれるに至るであれるに至るではない。 しているに至るであれるに至るであれるに至るであれるに至るに至るに至るにをなるに至る。

名

慰問金寄託

===

賞用店 金紙名

發審宛締佳 表查名切作

合流匪を撃退 十キロの四百八十二高 新京特別市大郷路一六號山場 を訪れこれは些少ですが私の 皇軍に野する感謝の微意です とうそ慰問金にお加へ下さい と金参園を寄託した

地附近において朱標子、徳海の合流匪約五十を發見、直らにこれを包圍攻撃、激戦二時間にして敵に多大の損害を興いて敵の選栗死體三十、負傷を改った。 右戦闘において敵の選栗死體三十、負傷 國民使節から 感謝電報

大日朝新京設日本に向つた協和會五族代表澄日使節から同夜本社宛左の電報を寄せた 出發に際し早期多数御見途りを添ふし感謝に耐へず貴 紙を通じよろしぐお傳へ乞 ふ 釘營署廢廳式 十二

八歲位

委細面談の事

中央通

屋

女店員募集

月一日を期して満洲國警察に 移譲される新京總領事館警察 場では來る十一日午前十時よ り講堂に於て全署員集合の上 庭庭式を舉行する、尚同式に は外務大臣代理の参列あり署 貨

御希望の方は説町二丁目五 青井表具店 電③六二六二

満舞踏界に誇る最初のキューバスタイ 9 日です

金銀賣買は専門店の

酒場オリエント

中央通洲五原 ③ 四 四 一 五

酒

御希望の方は至急御來談を乞株式會社跡株式會社跡

京 (電話③ 四三八一 七六

H.

の上決定

日滿人何れにも適應したるもの 1 一等 二十圓 一名 二等 十圓 一名 一等 二十圓 一名 一等 二十圓 一名 一等 二十圓 一名 一等 二十圓 一名 一方名所風呂敷一枚宛十名 十一月十五日限り 十一月十七日各新聞紙子 十 一月十七日各新聞紙上 定 五圓宛二名

します、奮つて御應募下さいます繰切に御願ひ致します。めて皆様の百貨店ミして一層お役に立つやうにこ存じまして皆様にデビューするこごになりました、就てはこれを機會に百貨店も開店五周年を記念に全店内を大改装し營業方法を一國都百貨店界の魁けミして久しく皆様方から御愛顧を蒙りま に居名を改稱いた 一新して堂々近く 一新して堂々近く が新京

東和商事の手で

の未來のスター

新京附屬地洪熙街に本建築する豫定の満州映書協會スタデオの地鎖祭は十日午前十一時より同敷地において盛大に執

お

日本酒 金二十五

松竹

田 紅影瓷村義康 たので嵐

堂會公念記所場

初日以來連日の大人を深謝致します リカ映畵最後の上映 再度見られぬアメリカ映畵を是非…… 原節子歸朝歡迎映畵 玄米茶は 美 の上海脱 大 石 茶 ・マネギ都帝國

形態の愛邇 勿塞の総 中賣特階添盃 御買上の程を 大型型り 今 田 商

(上) 集谷等。二郎

■ 作

交部省推薦

4.40 7.00 9.2

豊楽劇場

御婚

適用衣裳と精巧なカズラを取扱揃へて居ます

婚禮は是非當院へ

ダイヤ街通り(老松ビル)

老松美糖院

雅話 ① 六 三 四 九 學

= P = . . .

新月

映画御案内

① 資家御案內

0

アマネン

卜部新設料金五圓

青:

春

9

篇 宿宴

第二三

H (H)

=

2.20

三日より六日間

12.20 3.30 6.50

1-44 5-04 8-24 10-1085

1.05 3.25 5.45 8.10

まらいました。 さいましも協同びのテーブルに では、これ、わたしの気ですわる。 では、ごよってに指さしたことろー では、ごよってに指さしたことろー では、ごよっているですわる。 では、ごよっているですわる。 では、ごよっているですか。 を見張った。 を見張った。 を見張った。 を見張った。 事は

事は…… 事は…… 事は…… 事はがです。わたしざもご一緒に あ、問見です! もうすんだのから

.

::3

T

四十餘

新京主李

=

小萬

新興ニュース

人の貞操

電気御相談

女のいのち

こ、幸子が、襲治の意を伺ふやうに、見るさーー 議治の意を何

#

銀座

ぬ風に、紳士ー わたしは、もう、

さ、ちやうさ、そのさき、 その女も、顕治の方をみて ――同じく、できつごした 臓だつたが、何事か、眼で、

いけふは、これで失酸

月月

ペートーヴェン作七八ストラディヴァストラディヴァストラディヴァ

6 F

ネッラ

五日から十日まで

7.4

バラマウントニュース

國民皆兵令 12.80 8.24 6.18 9.12

五日より十日まで

1.18 4.31

1.27 4.40

3.03 6.16

#

ムベルア・一アテスア・ドッレフ

朝日事變

ニュース

上海脫出

1.35 4.37 7.39

東海美女傳

テムブルの



(日)

らしたが、すぐに、平氣にな のしたが、すぐに、平氣にな をはなれたのだった。 の思を所にみなぎ

お父さ

先きへかへり

さ。幸子のかをみるご。

つて、幸子のあさにつづいた

こさはつて。

曜

かる當感してあたら

『ありがたうございます

月)

見のかに向いて、何事か語り

さして頂きます。



殿五十百三千五第

見せし

ばたいて苦笑する。

お繭も、來て

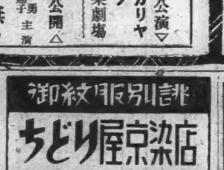
関見にすべての 敷削をおし数。 はいりべての 敷削をおし数。 はいり、その造品の中の寫。 は、生態ものある低酸。 は、生態のである。

タクシーをつかまへ

地名 100年 1				注	作流 作版 (1)	自然
			\bigcirc	$-\odot$		
長	大船畫幸	長 12.00	3.40	7.20 =	佐 新 大 野 松 妻 次	電
	事變ニュース	12024	3+54	7.84 封	形一の思選	2
PROPERTY AND ADDRESS OF THE PARTY AND ADDRESS	Committee of the last	2001		切り	九九四	

451	雨の) 夜	の 非	包擁	12.29	40(9	7-49	選	郎	切
157	敵	國	降	伏	2.06	5.36	9,45	手		
	7.	0		7			0.12 30.14	1		
素古教	近	Te .				1 1		11/1	V 22	11
秋三八八十八 東京 10 m		默	1	新	PE	1 海小	∇		. N A	
差人		Ŷ		新京主	前門		近日	農	2.1	
	8	4	È	十	34 無	夕起,英	公园	豐樂劇	カリング	

初一等	元 前	限	事小	▽近	夢ョ	ハムジ	
小士	推進	無き	起子主	日公開	樂劇塩	ガリヤ	







城川看護婦

宇治茶之茶道具

石

茶

店

敵計三都錦繪

日曜日は十一時開映 六日より八日まで

部



◎ 借今 電影 我



日像月像12.00 3.02 6.04 9.06



TEXESTER CONTRACTOR STATES ASSESSED FOR SERVICE STATES

賜り度傷に御顧ひ申上ますの寫め左記へ移轉致しまし

0

座

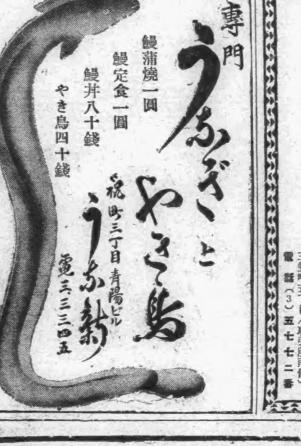








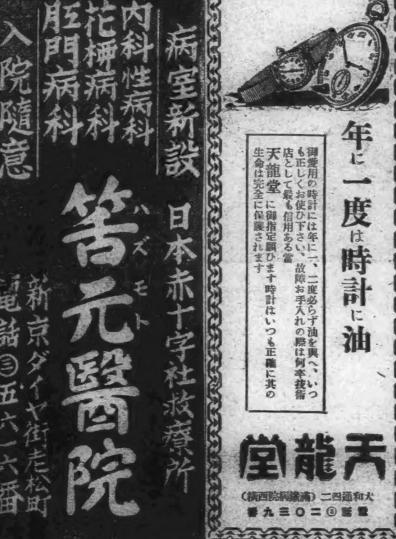
會商 登















第三國

非戦闘員の退去勸告

の時刻は迫つてゐる

燦然と朝日を受けて輝く太原城の瓦はわが砲口を向けられたま」不気味

の前の静けさの如く沈默を練び

新

の北支

小坂本社記者を特派

※整を取行、新鋭陸軍部隊の推 進に協力した

蘇州方面の敵ならびに黄浦江

急潮流を衝く

歐を發見、機を逃

勸告に城内應答なら

七日午後わが飛行機は城門、

機をもつて左の通り

撒布せ

(イ) 城内の第

整面的進展をみるに至ったが本社では小坂正則記者を 一度方面に特派して生れ出で は、これを詳細に報道せ しめる事となり小坂記者は 七日午後十二時勢列事で闘 東軍新聞班中島大尉に同行 が送局員等と共に一路天津 が送局員等と共に一路天津

ものは之を戦闘員

岡崎騎兵部隊

退却の敵

山西の首都太原も今や陷落。瀕し、

変方面の職况は

敵迫撃弾の炸製、彼我の機關銃部削なり、

「北京七日發國通」軍司令部七日午後三時四十五分發表=

森本部隊

太谷鎭を猛攻戦

包置さる

時南太原を占領せり(三)森本部隊は七日午前九時太谷鎭北側地區を南方に向ひ追撃中の我部隊は今尚攻撃續行中なり(二)長谷川部隊は太原城西側地區を迂廻南下し七日午七日發國通〕軍司令部七日午後三時四十五分發表=(一)太原城を北、東、西の三方より

福闘の敵陣地を背

七日午前九時す分を期して太谷市外北方に猛攻撃を開始した、この楽本部の酸陣地を背操より御き大権勘を樹てたわが楽本部隊は平定附近より再び

に引換へわが方の損害は死傷中の敵約一千と遭遇猛攻を加中の敵約一千と遭遇猛攻を加中の敵約一千と遭遇猛攻を加中の敵約一千と遭遇猛攻を加

は六日夕別既に満済でに同立北岸に進出せり二、 一方面の瀬は郷村で、六日夕早くもその第一線をもって満晩すると際被しつ、猛進約三十粁。 を表演に成功、上海方でに同立北岸に達し一部はする大の脅威を與へると陰當日の戦闘における敵ので、一部大田の海岸に、上陸當日の戦闘における敵のと多大の脅威を與へると陰當日の戦闘における敵のと、高海に成功、上海方でに同立北岸に達し一部はする大の脅威を與へると陰當日の戦闘における敵のとを大の脅威を與へると陰當日の戦闘における敵のと陰害の脅威を引いた。 一世であるが動揺の色 死傷を合し値々十数名を出て中であるが動揺の色 死傷を合し値々十数名を出ている。

豪雨と泥濘を衝き

江橋鎭に進撃

わが淺間部隊の奇襲

A A 原用

> 44 【頁二十刊夕朝紙本

眼

本、七日天津、七日天津、七日天津、

領

促街上の敵陣 艦隊精鋭巨弾を浴す

下 (上海七日漫画通)富士非部 キャの満種地グリークの意札 解は六日に引鞭さ七日朝東国 南線製画を支那軍が爆破した 察備の敵陣地に猛撃を加へ午 に渡る支那軍が居太軍の追撃 家橋の敵陣地に猛撃を加へ午 に渡る支那軍が居太軍の追撃 を恐れた結果とみられる ところとなった。 (本人の 全人)

(上陸部隊

上渡河に成功以降温進撃 河村部隊長談

新銳陸軍部隊猛進擊

上海包圍體勢

察南銀行大同分行

大同が近における晋登當西、大同が行では六日より五日までの廿日間を襲り五日ま 售紙幣を回收

潮の際には一千米以上の干潟 ならず、非常な困難を感じた。を惱ましたもので、この天然 【北京七日愛國通】六日夕刻同時に干潮の差も甚らく、干 澤の干潟を敷百米突撃せれば 遭遇、敵兵以上にわが勇士達 北京戦 捷渡行列 世界的に有名な急潮流だが、時だつたので上陸の勇士は記 上陸作業はまで非常女困難に 北京戦 捷渡行列 上陸作職を決行した杭州灣は 明わが軍上陸の際は丁度干潮 の急潮流に荒いらねりを生じ 太原進入に 上海七日愛國通」わが軍の を生ずる遠淺である、五日未 もので、さらに夜來の雨でこ とになつた

態撃する

除翔

と目指してか

反共政策具現ご共に

日獨親善愈よ緊密

日支紛争に擧國日本

明書を改表 「東京関通」楽談院各級では 「東京関通」楽談院各級では 「東京関通」楽談院各級では

定の質現

防共協定成立を

九國會議益々困難

米國政府方面の見解

日獨伊防共協定

日午前十時より衆職院職長官 会に政、民、社大、第一、國 同、東方の各會派代表参集、 協議の結果左の如き共同聡明 を發表した

外務省の祝賀會

本 (本) 本 (

(天津六日登園通)無敵屋軍 中七日より二十八日に至るま での京漢線および鎮子陽方面 における敵の損害は次の通り 1、平月十七日邯鄲縣附近光 鎌續、同十八日磁縣、潭河 鎌橋附近、同廿一日東保硝

にて累計の死傷三萬二千、ま 九日肥郷附近、同廿三日成 安附近、同廿八日山皇附近 において敵の死傷一千七百 において敵の死傷一千七百

を鹵獲品を腐みの損害

附近の夜襲撃退。同十二日 養業鎮附近等における敵の 養業鎮附近等における敵の 大同十八日娘子闕、游陽附 で、同十六日平定、陽泉へ の追撃戦等の戦闘における の追撃戦等の戦闘における の追撃戦等の戦闘における

腥

廢記念日

治安部

奉天二

福岡間

ブル連絡近く開通

行響をなす場

所長會議開

一日より三日間公會堂で

全面的治療及び附属地行政権 の移譲期印に際し首都警察施 特務料では管内日満人は勿論 特務料では管内日満人は勿論 特務料では管内日満人は勿論 が開展してもその反響、 のた現在迄の諸情報を綜合し であると次の如くである、シ がテルは勿論等だ、資施迄あ と除すところ二十数日しかな

は、 で名食が、 でのもある様だが、 でんがやつて来や でんだと同様の に於ける特権 でんだ、 満洲國側に於ける特権 でのも のが、 でのも のが、 でのも のが、 でのも のが、 でのが、 で

關東遞信局郵便局

日

獨·伊三國間

ソ支不可侵條約で拍車かく

とれた。 を記してのためでは、 を記してのためでは、 のでは、 がでで見を撃げて時に満洲國人といったと、 のでは、 がでで見を撃げて時に満洲國人といったと、 のでは、 がでである様がありくといって、 のでは、 のでは、 のであるが、 のであるが、 であるが、 のであるが、 であるが、 でもので大きない。 でれるが、 でれるが、

設立決定

支護を設置する館

ஈ

強の際生

出

職量を決議

政府官選でも を得以ところ である形である における獨伊 ところ ものである。 としては相当 ところ は私東における獨伊 ところ

先づ今日の情 のでこれを默 大いに責任が 女の失政を致 くない **東歓迎** 共協定を

新京畜士町二万目

新兵募集に 映畵講演公開

露営の歌

諸官衙 御用品

和ば十一月九日まで輸除期間 が異へられそれ以後は京城府 の大學、専門學校學生は一奏 に軍職式丸刈となつて銑後を 盛會を極めるものと思はれる 時局柄軍國熟高場してをり、 に映畵講演を公開する筈で、雙陽等においても一般市長宣傳を行ふが、統京、伊 皇傅を行ふが、頼京、知

決死隊

無砂松 島勝平 久 。昇男男

=

日雙陽 十日伊通、十三

赤れ 十の字

射体

行為取締規則

八日附公布さる

員の行為につきそ

さらに未成年者及び禁治

がいの中語を対象を 電二を 取業され ほき点

時大に航空 (東京圏 大に航空 (東京圏 ものより航空學生として入校大尉にして陸軍大學校學生又大尉にして陸軍大學校學生又兵科(憲兵科を除く)少佐、

海通連典

合いとア

配用級事炊

鹵獲の機開車で をもつて公布した

する國民

-

時局に虚

一、字探し、 にはこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを許可せす。その他はこれを対して不管なるが、前項とはであるが、前項とは中であるが、前項とは中であるが、前項とは中であるが、前項とは中であるが、前項と

京滬鐵道の =

おいているたが、六日午後三時半 右機関車による試験運動を行 った、これで三ヶ月振りに朝 かな汽笛の音が開北一環に鳴 り地停車場構内も甚だしく被 を海軍側の手で修理して行く 部の恢復を聞るべく準備を推 は、北停車場占領の原園獲し整理に努めてある海軍陸職員

者臨分令改正▲治巖に伴ふ 対論事務局で中央並に現地 関語事務局で中央並に現地 関語等務局で中央並に現地

齊發賣! 支の戦機(に

宇 治 茶 輝く榮譽 特長 3 原に次阪府知事より「昨年紀元節」被表彰のに労國發明協會より「昭和大年」 被表彰 茶 給炭量と調節で宇日でも一日でも自出に食物 新兴州 化學出 大倉商車 % 大會量 新光明 化學出 大倉商車 % 大會量 行店店合司會 家 大 石 茶 店

醫學博士市橘真三 先づ京 電③2606季

内はセンターで 液でつく寒さ 心・地

し支那事變を選上にのせて九 り開會されてゐるが、外務局 ではこの混沌たる歐米の事情 を観察せしむるため、哈蘭濱 を観察せしむるため、哈蘭濱 ではこのよれたり五日附左の ずか月間歐米各國に出張を命四か月間歐米各國に出張を命下 村 信 貞 社会 研演外務局特派員 の歐洲政局を背景と

軍業機工 0



整然たる道路網

碎石道路

柔道は電業

10日 滿 商事

歳末大賣出し

劍道は總務廳が優勝

寒さ愈よ本格化

ふ最低零下九·八度

長より優勝族ならが

太原陷落さ 煌火を打揚げて全市に報道

国 国 公園前から八島通りを開進 新京神 部に到り萬歳三唱、中央通り 楽山 で 三唱して解散することに決 定した、當日各商店は午後休 窓して行列に参加することに決 落の場合は午後一時から午後 落の場合は午後一時から午後 ち行ふことになつた。

21大與 公司 法 鄉鄉 然 鄉鄉 然 鄉鄉

警察権移譲を機會に

不オン街も刷新

質行委員を設け積極運動へ

も狭少な一室に押し込め光 が現在女給の宿舎を興へやうと言 主彼女等に充分休登し得る 指定の宿舎を興へやうと言 北のである。 指定の宿舎を興へやうと言 北のである。 が現在女給の前借制度は認 の認可により契約し得る制 のにある。 を選びないが、實験か のにある。 に記して本語の前間制度は認 のにより契約し得る制

1 1 2 1 2 2 大同 整 濟 京商業 B 部央 部央 部央 2 新京商業人

軍犬慰問

である。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ でる。 ・ で。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。 ・ でる。

十一等

三百五十二木 于二百十九本

新科長会議を開催して際務司 日から二日間に亘つて全滅害 日から二日間に亘つて全滅害

了した、同收容所は、収賀宴を張り三時日

7

超特作品

る情熱

街頭進出好成績收む

夕の畵名鮮朝

馬車收容所の 地鎮祭執行 四千九百九十九本

十七、八歳位 委綱面談の事

中央通ヤ

屋

移

内

攻店員募集

主演李

貞姬、

全一海

第

回作品

朴齊行

て菊地組の手に依つて本年中間を敷容するもので總面積三期を敷容するもので總面積三期を敷容するもので總面積三期を敷容する。 馬二千五百 「寫眞は地鎖祭」

地人男子、保證人を要す

紅屋毛糸店

「一大〇三

新京交通會社 新社屋に

宝

数 獨身同準室大小二十四室、備品付) ル内二階、三階

引越し

御希望の方は左記へ御縣の下さい

新京三笠町一ノ二六

ねて農樂胡同一〇一番地大 貨 室

ー二階事務所を閉鎖し、 七日腰前フーリストピニ に事務を

滿日川上君離京

ストラーを結ぶ治

ので最品商品券總額一萬三百」て五萬組を競行して買上金額一部北の程當局の認可も下つた。無と同形式の五枚連續式とし出しは新京商店同業組合聯合。くも近く宣傳廣告に移るべく出しは新京商店同業組合聯合。くも近く宣傳廣告に移るべく出しは新京商店同業組合聯合。

他内容の主要

に一齊に盃を渡したが軍司 顔負けの態、

1 A

閉よりの脈鳴 一一一七時三三分

五間の四

電②一四九五 興安大路風柳ビル

お茶と茶道具の店

みどり茶園

に付是非御來店御引立賜り度御待申上げます現代向の新品多數取揃へ特別廉價を以て御下命に應ずべく愈々寒くなつて参ります皆樣には防寒の御用意は……弊店

品目》婦人セータ、 營 業 各種毛皮婦人洋裝、 新挑並旣製品 靴及毛布

銀座 牛

おいて、ことのでは、こ

③本 五橋 三五五八

美しい姓した皆様のサロンモカ愈々今日から 來店の程か待申して居ります

食べる物も、咽喉を通りやしないと、

てしまはないと

間に設

ことを考へると、比略も安職とし

ろの騒ぎがやないんだよ。言ふだ ちゃないか。あたしゃ、お売どと

気までれの後日かを、

てれの幾日かを、との開発長

ところがこちらは長七郎です。

用の上、淋疾に對する新治療方針を得られたし。 使用法も頗る簡易なれば、未實驗者は連に之を使は各大學病院を始め著名の泌尿科專門醫にまで 賞用さウラルゴールの效力は次第に認識を高め、 現在にて

新京桥登覧 (監督・本・角)

はなっさ

今辨慶整骨院

電話。五六六九番新京海ケ桜町三八十

末松接骨院

文 米

Mail II OII M

慶應看護婦會

われし

三味

一つ概を脱つめながら。

と、お銀は空虚な眼で、デッと

それに、忠臨者の鳥田様兵衛を

短管(基本人(维 防 用)

附五

田中田 1回00

ウラルゴールの種類と價格

が かっ クラルゴー

『とれまで個分色んな男と交際つ

るであらうことを思かと、これも 始め、無動では、さぞ心配して時

三円田の

てもみたけ

れど、今日といふ今日

男の實際といふものを、あたしや

イロ、「Q ニュース再放送

されてるたけ

心臓の間に在ることを、

説明書進星

發

资元

友

田福本

三省出

簿專門

書は三日日日

合

九三八

東京市

し方のない夫職です。

京無線

かの外初心で、まともにお眠の間 をすが、この道にかけては、思 がですが、この道にかけては、思

これで、長七郎とお観とは完か

ラデオドラマ

第七次あり

板垣守正作

剧

は、肝臓のお薬が冷めてしまふか

開発を登めてはある。一個男子ると明確である。

といふわけで、

お飯は一ト先づ

全國有

山崎帝國党

地番六十五通條一业

三

全書流小族 学情流小族 学情流小族 単位所説明二 大一カバン店 大一カバン店

三五十월 普通用

・一回・二回・十回

東三馬路無電機下 東三馬路無電機下 東三馬路無電機下 男女を開仕ず

の張掃丸・

本會へ

十四四代價量

上回· 上回 上四

永樂派遣婦會 電話③六四〇二 會員大寨集

記さ

は一本にて三時間より六時間) ・ 一本にて三時間より六時間)

人、田〇

六六田

のですが、お互に知らぬが例で、」 のですが、お互に知らぬが例で、」

といふ機会は、まだやつてきるり

「お売なんか、どうなつてもい」

| (大連、新京) | (大連、新京) | (大連、新京) | (大連、新京) | (大阪) | (本版) | (本精神講座 | (本精神講座 | (本精神講座 | (本精神 | (**))) | (**)) | (**)) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**) | (**)

大二〇コドモの新聞(東京)

四、四〇經濟市況(大流

四、四のの四の

(大連、新京) 経済市況 (東京) ニュース (東京) (新京)

11,00 1,00 OIIIO

經濟市況 (大連、新京) (大連、新京)

ハノ流

そんなとたア、まあどう一は明朝下の家は危機でなりません

江戸に彷徨いて国るやうで

原平が非人となっ

うれ糸大な

滌藥。

注入薬、注射薬等にては、

到底根本的に全治せず。

而して治療日敷の長引くに強れる例は少からず。 都度、または時候の變り目毎に再験し、病勢は一進一退、つひには淋疾は不治 都度、または時候の變り目毎に再験し、病勢は一進一退、つひには淋疾は不治

彼女のやう 度は思りない。いいならいやだと お銀は、もうだしいことも、な 年増女の燃えるやうな標なので のやうな、しつかりした調子 といふんぢゃない。だから環

製法特許ウラルゴールである。

多年にわたり苦心研究の結果、創想を撲滅し、質に再發を防止すべく、

と関威し、質に再發を防止すべく、各専門家の指導協力の下にといに鑑み、男子淋病の根源たる尿道粘膜内に潜在する淋菌にあらざるがどの疑ひを増くに置れてほとう。

「市さん、塩が、ほんたうの気といふのだらうかねえ…… さう者へると、あたいだつて、いくらか、 な運動の系のもつれとも云へるで それは第一、軍平が非人となっ 長徳に、お銀は明殿下に別るに家 係て、斯うなると、市松は国際

に戻って、歌りつづけるのでし から、それで、おまいに押費をし 「あたしが、と人が無関でなった 問がではりかは「いくつき」 明に関い代するの。 の様の 例人はたう 6付か山間極になり テレ酸しなんです。 日刊初めて、といわけなのる」 なく、やはり質の影 てきるれば個人りてえ似さ、はいら しかし。それはお彼の気粉れで 市松は関を強いて青笑しました 一、 夫婦とも情人な

竹中 長 大小公司等 "林里场进行" 我因 核川 一兩之助 郎。

(開生的)

苦痛は減少するも、其治療法は却つて困難となり、内服薬、洗週間を過ぎたる時は、亞急性より次第に慢性症となり、患者の 營及び深層を蠶食し、ここに潜在す。故に淋疾は感染後、約三淋菌は感染後、間もなく尿道粘膜の表面より次第に粘膜の側

慢性と再

U. 913

日英

ウラルゴー ルとは、 内服薬にあらず、

本(化合居計画であら 共成吸引し管理があるみ 対域をして管理が対する。

の作件国の職

新八の

恐ろ

佛

法

小原整骨院

大阪の風は内吹する 高く買ます 電3六七二七巻

古者多服オーバーオイヤ情を投資工

大の是元文は本(徳)はくこの 一般ので、同門までなり、行

サック をなきざる品 多と離用は体質の電店に限る 富士卯二ノル五 に限る 本門の電店に限る 一フル五 に限る

部京宮谷町一丁目 お茶と みどり茶園

大和運輸公司 間またれる人種 関連及出版公本付替一般 経産物藻袋の準備有

三笠町二丁目二四

奉仕堂藥房 電の六一三六番

と目仰九ノニ 電(の) 二七四七 月市 弘英、俊英、 其他家傳良難あり

ロシャ菓子 受過三泰公司 行電話即時配達

電話3六七二七番

九州堂療院 九州堂療院 商業學校御指定。

新色

國光



総寫・代書

第





類京唯一の立喰



傳お灸 古光堂療院 吉光堂療院 キ張北 庭原出經済品のり 應し下痢胃糖病を強助品特長美味最も小見に









●專總荷扱所 東總有扱所 東京等務所 東京等表面 の八九 大漁支店 東京等務所 東京等表面 の八九 大漁支店 東京等表面 の八九



(大阪行)

目科業營 質月金費 質賦 融買

速迅切一扱取 認公 話歌金融 結名其也の模質 信費買は老舗 京土地建物會社 果一條通り四六 全部特用機能



